

第1回 四條隆資卿学習会

【日時】 令和2年(2020) 1月12日(日)
13:30~16:30

【会場】 八幡市文化センター3階
八幡市八幡高畑 5-3 電話 075-971-2111

【定員】 50名(申込先着順)

【申込期間】12月10日~翌年1月10日
(厳守 但し12月28日~1月5日は年末年始休止
申込先は本紙右隅を参照)

【〆切】2020年1月10日(金) 17:00迄

【参加費】500円(含む会場費/資料代等 当日徴収)

第1部「四條家の歴史—石清水八幡宮寺との関係の 中で」

大田友紀子氏(四條隆資卿研究会 事務局長)

四條隆資卿の生家である「四條家」は、平安後期以に形成された公家の家格では、羽林家です。

羽林家は近衛府などを担う武官の家であり、近衛中や少将を経て、大・中納言、参議にまで昇進出来る家柄です。

始祖である藤原顕季は、母が白河院の乳母であった事から、破格の扱いを受け、殿上人となり、子孫代々の繁栄の基を築きました。

院の近臣としての地位を確立した代々の四條家の当主達は、天皇の勅使などを勤め、春の臨時祭・秋の放生会に奉仕するのです。その後のお話しは、会場にて…。

第2部「蠶螂山 カマキリが取り持つご縁」

村林利高氏(蠶螂山保存會会長 当会副会長)

永らく巡行に参加しない「休み山」でしたが、様々な人々の努力や協力により昭和56年(1981)に復興しました。

山の象徴であるカマキリのモデルとなった四條隆資卿は、ここ八幡の地で戦死されました。

本学習会ではそれらを含めた様々なご縁についてお話しをさせていただきます。

ご挨拶

本年、2019年6月9日(日)

四條隆資卿は、ほぼ300余名の「正平役」にてなぐられた方達を慰めるために、「正平京中(山梨地内)にて、法要を執り行い、その後、場所を石清水八幡宮の清峯殿に移して、講演会(男田八幡の戦いと四條隆資(常盤山大学花田卓司准教授)を聞きまし)

当日、慰霊法要および講演会にご参加いただいた方々に改めてお礼を申し上げます。

そして、いよいよ、第1回目の学習会を開催する運びとなりました。多くの方々のご参加を心よりお待ち申し上げます。

問い合わせ・申込先

四條隆資卿研究会(担当:大田)

携帯 090-7365-1116

FAX 075-972-3758

E-mail:kyutoro@rhythm.ocn.ne.jp

主催:四條隆資卿研究会

協力:石清水八幡宮

蠶螂山保存會